

ウェブサイトのご紹介

在宅療養や緩和ケアに関するさまざまな情報や、各地でのフォーラムや研修会などの活動を掲載しています。在宅療養についてわかりやすくまとめたガイドブック「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」を、ご覧いただけます。



がんの在宅療養

がんの在宅療養



<http://homecare.umin.jp/>

掲載内容

- ▶ 「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」のご紹介
- ▶ 在宅での療養をテーマにしたフォーラムや研修会のご案内や開催記録
- ▶ 在宅療養ガイドに関わった人からのメッセージ
- ▶ お役立ち情報のご案内 など



ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ 在宅療養ガイド

定価：本体価格 1,000 円+税
出版：株式会社 日本医学出版
ISBN 番号：978-4-86577-016-2
サイズ：A5 判
ページ数：144 ページ

全編をウェブサイトでご覧いただけます

全国の書店で
注文・購入できます

地域における がん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクトについて

患者さんが、その人らしい生活を維持しながら、自宅や施設などの身近な場所で過ごすときに役立つ情報を、ウェブサイトやフォーラムなどで発信しています。地域でのフォーラム、アンケートなどを通して、顔の見える関係づくりを進めていくことが、患者さんとご家族を支える社会づくりの第一歩だと考えています。ぜひ、ウェブサイトをご覧ください。

あなたの街の相談窓口・連絡先

このパンフレットは、公益財団法人 正力厚生会の助成により作成されています。



がんの
在宅療養

3 回シリーズ

第2回 私たちに相談してください

もっと知りたい「がんの在宅療養」
病気になっても、ずっと家で暮らせます。

保存版

地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト

病気になっても、
ずっと家で
暮らせます。

私たちに相談してください



もっと知りたい「がんの在宅療養」

3回シリーズ

第1回 がん患者さんの在宅療養とは

第2回 私たちに相談してください

第3回 もっと知ってほしい、在宅療養のこと



相談員

もし、あなたや、あなたの大切な人ががんになったら。住み慣れた場所での生活を続けながら、その人らしい毎日を送ることができるような仕組みづくりが、地域で進められています。がん患者さんの在宅療養とは？

今回は、在宅療養を支えるさまざまな専門職についてご紹介します。

● チームによる医療と在宅ケア

在宅での療養では、さまざまな専門性をもつ職種からなるスタッフが、チームになって関わります。チームによる診療や在宅支援では、それぞれの専門性が十分に発揮され、患者さんとご家族の想いに寄り添いながら、一致した方針に従って医療やケアを提供できるというメリットがあります。はじめは在宅での生活に不安があっても、医療や介護・福祉の専門職から、適切なアドバイスを受けることで、患者さんもお家族も少しずつ慣れて、リラックスした時間を過ごすことができます。

● 在宅での療養を支える専門職の例（在宅支援チーム）

訪問診療医

患者さんの自宅を定期的に訪問し、診察や薬の処方を行います。急な変化があったときには電話や往診で対応します。

訪問看護師

患者さんの自宅を訪問して、医師の指示に基づく医療処置、看護や療養面の支援を行います。患者さんとお家族の心身のケアにもあたります。

リハビリテーションの専門職

（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）
病気や治療に伴う障害を予防したり、和らげたりすることで、生活の質を維持するためのリハビリテーションを行います。

薬剤師

薬の使用方法や管理、副作用に関する相談に応じます。自宅まで薬を届ける場合もあります。

歯科医・歯科衛生士

歯や口のケア、合わなくなった義歯の調整、虫歯の治療などを行います。

ケアマネジャー

介護保険を利用するとき、どのような支援を受けられるか、患者さんやお家族とともにサービス計画を作成します。

管理栄養士

食生活や栄養に関するさまざまな相談に対応します。

ホームヘルパー

日常生活の介護や買い物、掃除などの援助を行います。



在宅支援
チーム



在宅療養について 相談するには

- 行政の担当窓口があります。
- 相談員のいる、地域包括支援センターの各地域の所在を各市町村に聞いてみましょう。
- 国から指定を受けているがん診療連携拠点病院には「がん相談支援センター」が設置されているので、足を運んでみてください。相談は無料で、その病院にかかっても利用できます。



国立がん研究センターがん対策情報センターが運営するウェブサイト

「がん情報サービス」で、全国の「がん相談支援センター」を検索できます。

がん情報



国立がん研究センター
がん情報サービス

ganjoho.jp

● 気になるお金の話

在宅療養にかかる費用は、月に平均いくらかいかかるのか、あらかじめ十分に検討しておくことをおすすめします。在宅療養の費用は、おおまかに「医療費」と「介護費」の2つに分けられます。医療費には、「在宅医の訪問診療費」「訪問看護費」、介護費には、「訪問介護」「介護用具にかかる費用」などが含まれます。医療費については、病院の医療ソーシャルワーカー、介護費については、ケアマネジャーなどに確認してみましょう。

「在宅療養を始めるとき」

Q. 訪問診療では、どんなことを行うのですか？

——自宅で暮らすがん患者さんを定期的・計画的に訪問して診療を行うのが「訪問診療」。急な変化があったときにも電話や往診で対応します。痛みの緩和を含めて、必要な医療処置を受けることができます。

入院での治療が落ち着き、在宅での生活の見通しがつきはじめてから、病院の地域連携を担当する部署と協力して、在宅での療養をはじめていきます。

Q. はじめにどんなことを話し合うのですか？

——訪問診療・訪問看護の仕組みについての説明にはじまり、自宅での過ごし方、ご本人とご家族の希望や今後の見通しなどを、ご本人とご家族と一緒に時間をかけて話し合います。家で過ごすことを決めても、あまり肩に力を入れないで、頑張りすぎないことも大切です。

特にご家族は、休めるときには休んでいただきたいと思います。在宅療養を続けている間に、病状が変化して入院したり、はじめの予定と変わることも、よくあることです。患者さんの病状によって、ご家族の気持ちが揺れることがあってもよいのです。

在宅での療養が始まると、予想もしなかった心配ごとや困ったこと、疑問などが出てくるかもしれません。気付いたときに書き留めておき、スタッフが訪問したときに相談してみるとよいでしょう。

在宅では、ご家族のケアも重視されています。どんなサポートをしてほしいのか、話し合いを重ねていく中で、より良い解決法が見つかるでしょうし、お互いの信頼関係も育まれていきます。

より詳しくは、次のページをご覧ください ▶▶▶▶